



子どもたちの未来を育み みんなの笑顔があふれるまちへ

北九州市は、子どもを生ま育てることの喜びを実感できるまちを目指し、医療機関や地域団体などの関係機関と連携しながら、さまざまな取り組みを進めています。

子育てしやすい理由 | 01

“安心して子育てができるまち”

■ 出産・育児に安心の医療体制

出産前後の医療では、妊娠・お産のときに生じる緊急の出来事にもスムーズに対応できるよう、妊婦健診や通常分娩などを行う医療機関だけでなく、リスクを伴う妊娠・お産を取り扱う医療機関がそれぞれの役割を分担しながら連携する仕組みをとっています。また出産後のケアも充実(※)。

小児救急医療では、24時間365日対応の病院が市内に4カ所あり、さらに夜間・休日に看護師などが電話相談を受け付ける体制も整備しています。また、障害のある子どもたちの療育および医療等についても、多岐にわたる支援があります。

※「こにちは赤ちゃん!小児科訪問(ペリネタルビジット)事業」…産前から産後間もない時期に育児についての不安等を相談できるよう、産婦人科が小児科を紹介する仕組み



▲小児救急・小児総合医療センター(市立八幡病院内)

■ 子ども医療費を18歳まで支援

子ども医療費支給制度では、18歳(※)までを対象に市が自己負担額を助成しています。

※18歳に達する日以後の最初の3月31日まで

■ 全児童が利用できる放課後児童クラブ

放課後の児童の健全育成を図るために、おおむね小学校区ごとに放課後児童クラブを設置しています。地域団体が中心となって運営しており、低学年や留守家庭の児童に限らず希望する全児童が利用できます。

■ 保育所入所定員や保育の質の充実

北九州市では、合計特殊出生率が1.47(令和2年)と政令市第2位です。子どもを受け入れる保育所の受け入れ定数は、毎年の入所予定児童数を大きく上回る環境整備がなされています。また、国基準を上回る保育士の配置も実施済みです。(1歳児5人につき、1人の保育士)



子育てしやすい理由 | 02

“市内には子育て施設や学習施設がたくさん!”



子育てふれあい交流プラザ「元気のもり」



子ども図書館



スペースLABO(科学館)

令和4年4月にオープン。国内最大級のプラネタリウムや不思議な科学現象を体験・体感できます。



到津の森公園



環境ミュージアム



いのちのたび博物館



平和のまちミュージアム



子育てしやすい理由 | 03

“子どもの未来をひらく学校教育”

「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、「自立し、思いやりの心をもつ子ども」「新たな価値創造に挑戦する子ども」「本市に誇りをもつ子ども」を目指す姿として、よりよい教育環境の実現に向けた取り組みを進めています。

- 小学校・中学校完全給食実施
- 小中学校におけるICT環境整備(1人1台端末)
- 35人以下学級/小学校1年~中学1年まで実施(中学2・3年は選択制)

また、「新たな時代を切り拓く力」を育成するため、市立小・中・特別支援学校および高等学校に「SDGs推進校」を指定し、特色ある取り組みや実践研究など、SDGsの視点を踏まえた教育を推進しています。



SDGsの視点に立った地域教材資料集

小学校3・4年生を対象に、SDGsの視点に立った地域教材資料集「わくわく!北九州」や、中学生を対象に、地域副読本「KITAKYUSHU SDGs Action」を学校の授業で活用。課題を自分事として捉え、解決に向けた取り組みを考えます。

子育て 日本一!

北九州市の子育て環境は、令和3年度にNPO法人エガリテ大手前による「次世代育成環境ランキング」にて政令指定都市第1位、(一社)日本子育て支援協会による「日本子育て支援大賞」にて自治体部門初受賞をするなど、各方面から高い評価を受けています。

